

華族女学校の開校式に
皇后陛下より賜はりたる

令旨の寫

此度新たに善後女学校を設立し
今日其開校の式を舉ぐは、
将人君たる女子は、
巽順の徳を體

して善く父母舅姑に事へ、
又

之良人を助けて善く一家の事

と理め、其母たるにありては、
其子を

家庭の内に教育するの義務

ありしものなるを、
其方にお慰せる

学後なるを、
す近來各地女

学校の設あり、
今ま、特に善後

のため、本校を新設するは、
皆此

と趣に基き、
其ものなり、
其は



のため本校を新設するは皆此
と趣に基きたるものなりされは
本校の女子を諸科の學術に
熟達せしむるも更に道徳
の源に溯り右貴地位に在りて
孝順貞烈慈愛の徳と修め
國家教育の本旨に背かざる
ことを期し又教育者は女子教
育の大任をおもひ務めて教授の
方法に注意し善く主学科に
要領を得せしむ今日本校の
式に臨み聊々所思を述す前
途に進歩を望む



東京府豊多摩郡戸塚村下
 伯爵大隈重信殿

今西十月
 華海堂洋行代印
 洋商(即華商)明
 發(即華商)明
 洋商(即華商)明
 發(即華商)明

3





静岡縣沼津御用邸

皇居宮大夫伯爵香川敬三



特別
114
D590